

道銀芸術文化奨励賞受賞者

第1回(平成3年度)

カウニス弦楽四重奏団…音楽部門(弦楽四重奏)
北口 さつき……………美術部門(日本画)

第2回(平成4年度)

米原 眞 司……………美術部門(ガラス工芸)
札幌室内歌劇場……………舞台芸術部門(オペラ)

第3回(平成5年度)

ホルツブレザー・アンサンブル・サッポロ
……………音楽部門(木管五重奏)
安念 智 康……………舞台芸術部門(劇作・演出・劇団経営)

第4回(平成6年度)

橋本 礼 奈……………美術部門(油彩画・テンペラ併用)
北村 洪 史……………文学部門(小説・エッセイ)

第5回(平成7年度)

針生 美智子……………音楽部門(声楽-ソプラノ)
影山 吉 則……………舞台芸術部門(高校演劇指導)

第6回(平成8年度)

佐藤 克 教……………美術部門(木版画)
アンサンブル・ヴェガ……………音楽部門(室内楽演奏)

第7回(平成9年度)

堀木 淳 平……………美術部門(彫刻-モニュメント)
赤川 智 保……………舞台芸術部門(モダンバレエ)

第8回(平成10年度)

グレブ・ニキティン……………音楽部門(ヴァイオリン)
平向 功 一……………美術部門(日本画)

第9回(平成11年度)

香西 信 行……………美術部門(陶芸)
梅本 実……………音楽部門(ピアノ)

第10回(平成12年度)

陳 曦……………美術部門(日本画)
長内 勲……………音楽部門(合唱指揮)
早川 渉……………舞台芸術/映画部門(映画監督)

第11回(平成13年度)

伽井 丹 彌……………美術部門(工芸-人形)
岡崎 正 治……………音楽部門(声楽-テノール)

第12回(平成14年度)

田中 綾……………文学部門(文芸評論)
辻森 公 恵……………音楽部門(ピアノ)

第13回(平成15年度)

小林 重 予……………美術部門(彫刻造形)
竹生 東……………舞台芸術部門(中学校演劇)

第14回(平成16年度)

菅原 利 美……………音楽部門(声楽-ソプラノ)
高橋 学……………舞台芸術部門(ダンサー・振付家)

道銀芸術文化奨励賞受賞者

第15回(平成17年度)

上杉 春 雄……………音楽部門(ピアノ)
鈴木 涼 子……………美術部門(版画・写真・オブジェ)

第16回(平成18年度)

石田 敏 明……………音楽部門(ピアノ)
野又 圭 司……………美術部門(彫刻)

第17回(平成19年度)

外山 啓 介……………音楽部門(ピアノ)
福井 路 可……………美術部門(絵画)

第18回(平成20年度)

駒ヶ嶺 ゆかり……………音楽部門(声楽-メゾソプラノ)
松本 早 苗……………美術部門(絵画)

第19回(平成21年度)

石川 祐 支……………音楽部門(チェロ)
波田 浩 司……………美術部門(絵画)

第20回(平成22年度)

宮下 祥 子……………音楽部門(ギター)
會田 千 夏……………美術部門(絵画)

第21回(平成23年度)

岡本 孝 慈……………音楽部門(ピアノ)
井桁 雅 臣……………美術部門(絵画)

第22回(平成24年度)

下司 貴 大……………音楽部門(声楽-バリトン)
久野 志 乃……………美術部門(絵画)

第23回(平成25年度)

LCアルモーニカ……………音楽部門(オペラ)
蒼野 甘 夏……………美術部門(絵画)

第24回(平成26年度)

伊藤 亮太郎……………音楽部門(ヴァイオリン)
国松 希根太……………美術部門(彫刻・絵画)

第25回(平成27年度)

成田 達 輝……………音楽部門(ヴァイオリン)
高井 秀 樹……………美術部門(陶芸)

第26回(平成28年度)

中谷 友 美……………音楽部門(ピアノ)
上ノ 大 作……………美術部門(陶芸・空間造形)

第27回(平成29年度)

中江 早 希……………音楽部門(声楽-ソプラノ)
菱野 史 彦……………美術部門(金属彫刻・金属工芸)

第28回 道銀芸術文化奨励賞 贈呈式

〈日時〉平成31年2月22日(金)
午後2時00分より

〈会場〉北海道銀行本店ビル



公益財団法人 道銀文化財団

受賞者の横顔

——式次第——

1. 開 式

2. 理事長式辞

3. 受賞者の事績紹介

4. 道銀芸術文化奨励賞贈呈

5. 来賓祝辞

6. 受賞者挨拶

7. 作品紹介

8. 閉 式

<音楽部門> マリンバ



くつ の せつ こ
沓野 勢津子

1984年生 大阪府出身/札幌市在住

【略歴】

2007年 京都市立芸術大学音楽学部を首席で卒業。音楽学部賞、京都音楽協会賞(公財)ロームミュージックファンデーション奨学生としてボストン音楽院留学(アメリカ)
2010年 ボストン音楽院グラデュエイト・パフォーマンス・ディプロマ科マリンバ専攻卒業

【主な受賞歴】

2009年 イタリア国際打楽器コンクールマリンバ部門第1位
2010年 南カリフォルニアマリンバコンクール優勝
2013年 札幌市民芸術祭奨励賞(新人音楽会部門)
2014年 札幌市民芸術祭奨励賞(札幌市民劇場部門)
日本管打楽器コンクールマリンバ部門第1位および文部科学大臣賞、東京都知事賞

【近年の主な活動歴】

2012年 「沓野勢津子マリンバリサイタルwith 札幌フレンズ」(札幌)
2013年 「沓野勢津子マリンバリサイタル マリンバで聴くフランス音楽」(札幌)
2014年 「沓野勢津子マリンバリサイタル with 札幌フレンズ Vol.2」(札幌)
「日本管打楽器コンクール大賞演奏会」ソリスト
(山下一史指揮/東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団/東京)
2015年 「新進演奏家育成プロジェクト オーケストラ・シリーズ 第24回札幌」ソリスト
(高関健指揮/札幌交響楽団/札幌)
「第31回日本管打楽器コンクール第1位受賞記念 沓野勢津子マリンバリサイタル」(東京)
2016年 「塚越慎子&沓野勢津子 マリンバデュオリサイタル」(札幌)
2017年 「ニューイヤーコンサート2017沓野勢津子マリンバの世界」(日高)
「ロジネットジャパン チャリティーコンサート」ソリスト
(現田茂夫指揮/札幌交響楽団/札幌)
「沓野勢津子マリンバリサイタル」(札幌)
2018年 「沓野勢津子マリンバリサイタル～自然界のマリンバ～」(札幌)

日本最大のマリンバメーカー「こおろぎ社」アーティスト。札幌大谷大学芸術学部音楽学科非常勤講師、ドルチェ音楽教室講師。
全道、全国各地でソロ演奏、室内楽演奏、プロオーケストラにてエキストラ出演、コンクールの審査員やマリンバレクチャー、レッスン等を意欲的に行う。
打楽器・マリンバを奥田有紀、種谷睦子、山本毅、坂上弘志、小森邦彦、ナンシー・ゼルツマン、布谷史人の各氏に師事。

<美術部門> 木版画・絵画



とみた みほ
富田 美穂

1979年 東京都出身/斜里郡小清水町在住

【略歴】

2004年 武蔵野美術大学造形学部油絵学科版画コース卒業

【主な受賞歴】

2015年 第10回TAGBOAT AWARD 審査員特別賞 小山登美夫賞
2017年 第20回岡本太郎現代芸術賞 入選

【近年の主な活動歴】

<個展>
2008年～ 佐伯農場荒川版画美術館 夏季常設(中標津)
2010年 「うしのひとみ」東一条ギャラリー(中標津)
2012年 「牛の温度」アートホール東洲館(深川)
2013年 「牛の木版画」Gallery Retara (札幌)
2014年 絵本「おかあさん牛からのおくりもの」原画展(札幌・中標津・長崎県志岐)
* 絵本 — 松岩達 作、富田美穂 絵、北海道新聞社 出版
2015年 「ミニミニセブン 富田美穂—牛・ウシ・うし—」網走市立美術館(網走)
2017年 「富田美穂展 牛のつむじ」Gallery Retara(札幌)
2018年 「牛の足音 —富田美穂 牛の木版画展—」神田日勝記念美術館(鹿追)

<グループ展>

2013年 「農村の表現者たち～私たちの暮らしとその周辺～」
アルテピアッツァ美唄(美唄)、雨煙別小学校ココ・コーラ環境ハウス(栗山)
2015年 「第10回TAGBOAT AWARD 入選者展」世田谷ものづくり学校(東京)
2016年 「牛展3」3331アーツ千代田(東京)
「Far East コンテンポラリーアート2016」喫茶風来山人(北見)
「釧路芸術館×FMくしろ<path-artと仲間たち>展」釧路芸術館(釧路)
2017年 「第20回岡本太郎現代芸術賞展」川崎市岡本太郎美術館(神奈川)

<パブリックコレクション>

網走市立美術館

大学在学中にアルバイトで訪れた北海道の牧場で出会った「牛」に魅了され、卒業後北海道小清水町へ移住した。酪農ヘルパー、酪農従業員として牛の世話をしながら制作活動続ける。
これまで佐伯農場荒川版画美術館をはじめとして、道内外において作品を発表し、ジェネティクス北海道機関誌「sire」表紙、情報誌、絵本、ポスターなどにも作品を提供している。